

MET 設立 20 周年記念行事 報告

2026 年 1 月、一般社団法人 東京都設備設計事務所協会 (MET) は設立・統合から 20 周年を迎えました。この節目を記念し、1 月 30 日に東京国際フォーラムにて「若手技術者作品発表会 (MET 賞)」を初開催。同日、同フォーラムにて「設立 20 周年記念式典」および「祝賀会」が盛大に執り行われ、会員・来賓・賛助会員 300 名超が一堂に会しました。本稿では、各行事の模様を報告します。

■若手技術者作品発表会 (MET 賞)

◆開催概要

若手設備設計技術者が設計業務における工夫・取り組みを発表し、技術力向上と相互研鑽を図ることを目的として開催された「若手技術者作品発表会 (MET 賞)」。

各発表者は約 8 分間にわたり設計事例を報告し、会場では活発な質疑応答が行われました。

◆審査委員

◇審査委員 (五十音順)

光永 威彦 氏

明治大学 理工学部 建築学科 准教授

高瀬 幸造 氏

東京理科大学 工学部 建築学科 准教授

谷口 景一郎 氏

東京大学 大学院工学系研究科 特任准教授

中村 秀親 氏

関東学院大学 建築・環境学部 講師

持田 正憲 氏

武蔵野美術大学 造形学部 建築学科 教授

◆審査員代表挨拶・審査結果

審査の結果、谷口景一郎様 (東京大学) より審査員代表挨拶と結果発表が行われました。「今年度の発表は全体として水準が高く、若手技術者が実務の中で主体的に課題を発見し解決策を導き出す力の着実な成長が見られた」と総評されました。



◇受賞結果

■最優秀賞 (MET 賞)

「下田市新庁舎における水熱源用蓄熱槽について」

有限会社 ZO 設計室 佐々木 歩貴 氏

■優秀賞

「CPC 空調設計における制御設計の考え方」

株式会社 Office May 福嶋 陽 氏

■審査員特別賞

「都内某劇場における現場監理でのシミュレーションによる検証」

株式会社 総合設備計画 長見 直 氏

「アリーナ空調方式の全面リニューアル」

株式会社 建築設備設計研究所 山中 啓央 氏



◆発表作品の概要

「某薬品工業 中央棟立替計画 事例紹介」

齊藤 雄太 氏(株式会社 明野設備研究所)

長野県松本市の某薬品工業中央棟(事務所・食堂・会議室・多目的スペースの複合施設、鉄骨造2階建て、2027年3月竣工予定)の設備設計事例が報告されました。設計と条件の筆頭に掲げたのが「ZEB」の達成です。エントランス・食堂・常時稼働居室には地中熱ヒートポンプと組み合わせた輻射式冷暖房設備を採用し、不定期使用の会議室や多目的室(ジム)は天カセエアコンで対応。センサーによる照明制御も組み合わせて高水準の省エネを実現しました。さらにBCP対策として、災害時72時間の空調稼働を確保するエリア・機器選定と、井水活用(雑排水・汚水用)が可能な系統を設計に盛り込んでいます。



「新設大和田地区小学校新築工事」

戸鹿野 圭 氏・泉 涼太 氏

(株式会社 総合設備コンサルタント)

埼玉県さいたま市見沼区に建設されたさいたま市立大和田小学校(小学校・保育所・放課後児童クラブの複合施設、地上3階・地下1階、延床面積約14,000 m²)の電気設備及び機械設備設計を報告。設



計コンセプトとして、各施設の独立性・連携性を踏まえたゾーニング計画、最適な学び・フレキシブルな学習空間の実現、防災拠点对応・感染対策、地域との共創空間の実現が掲げられました。その特徴的な設備として、サーカディアンリズムに配慮した調光調色照明、児童自身が映像・音声配信可能なスタジオ機能付き放送設備、自立型GLP・LPガス対応厨房器具、監視カメラ・防犯センサー、可動床式屋内温水プール設備等が紹介されました。

「下田市新庁舎における水熱源用蓄熱槽について」

佐々木 歩貴 氏(有限会社 ZO 設計室)

最優秀賞(MET賞)を受賞した発表。静岡県下田市の新庁舎において、地下水を空調熱源として活用する水熱源用蓄熱槽の設計が紹介されました。

この水熱源蓄熱槽の特徴は、空調熱源を主軸に複数のカスケード利用と共に提案されたことでした。1点目のカスケード利用は、地下水を塩素滅菌してトイレ洗浄水として活用したこと、2点目は温泉管の熱を蓄熱槽内の地下水の昇温に利用した上で足湯へ供給する工夫でした。さらに注目されたのは20年後・40年後の「減築ビジョン」を見据えた設備計画。将来の棟解体を想定して受変電設備の構成を工夫し、既存消火設備も再利用できる設計としており、時間軸を意識した長期的視野が高く評価されました。

審査総評では「一つの建物で水・熱・エネルギーをここまで循環させた設計は、持続可能な設備設計の模範例」と称えられました。



「アリーナ空調方式の全面リニューアル」

山中 啓央 氏(株式会社 建築設備設計研究所)

1964年東京オリンピック開催時に竣工した駒沢オリンピック公園総合運動場体育館の空調改修工事について報告。既存の単一ダクト方式は高天井から

の混合吹出しのため換気効率が悪く、バドミントン・卓球などの競技に影響を与える残風速0.5 m/s程度の気流が課題でした。改修後は置換空調方式を採用。壁面下部から新鮮空気を微風速で吹き出し、空気の比重差で汚染空気・熱気を上部へ置換する方式で、競技への影響ゼロ・省エネ・換気効率向上の三拍子を実現しました。気流シミュレーションにより計画の妥当性を事前検証した点も、設計の信頼性向上に貢献しています。



「都内某劇場における現場監理でのシミュレーションによる検証」

長見 直 氏(株式会社 総合設備計画)

都内某劇場の空調設計において、設計図に計画していた客席下部の床下RAダクトを、現場監理段階で施工者から省略提案された際の対応が紹介されました。「省略の可否」を判断するため温熱環境シミュレーションを実施し、夏季(冷房)・冬季(暖房)それぞれの気流・温度分布を可視化。シミュレーション結果と現場測定値を比較検証することで、設計意図の担保と施工合理化の両立を図りました。設計から施工監理まで一貫して根拠データで判断を積み重ねた実践的な報告として、審査員から高い評価を受けました。



「レセプション棟の設計と設備概要」

山崎 宏章 氏・矢内 颯馬 氏
(株式会社 T・S・G)

デクセリアルズ株式会社本社・栃木事業所のレセプション棟に関する設備設計が報告されました。空調はVAV(変風量)制御と外気冷房制御を組み合わせ、BEMSによる一元管理を実現。給水は上水と井水を併用し、硬度の高い井水はRO純水装置を通して加湿給水に活用しています。衛生設備ではジェンダーレストイレを採用し、大便器・小便器を全室個室化。電気設備面では屋内キュービクル、無線調光・調色制御(タブレット操作)、デジタルサイネージ、Wi-Fi整備を実施。屋上に100 kWの太陽光パネルを設置してZEB達成を実現した総合的な設備計画が紹介されました。



「茨城県大子町新庁舎における電気設備設計検討と実施設計への展開」

野口 亮太郎 氏(有限会社 EOSplus)

2019年台風19号による浸水被害を機に浸水リスクの低い場所へ移転新築された茨城県大子町新庁舎(木造準耐火建築物・地上2階、延床面積約5,073 m²)の電気設備設計が報告されました。木造小屋組を意匠として露出させるデザインに対応するため、設備



配管・機器の配置・レベルを3Dモデルで詳細検討し、施工側と精密な情報共有を実施。BCP対策として、発電機運転時のデマンド制御による空調能力の自動調整と、DIALuxを用いた照度シミュレーション(通常時・非常時)・昼光シミュレーションを実施。BIM活用が設計品質向上と施工段階の手戻り削減につながるとして、今後の設備設計への展開可能性も論じられました。

「CPC空調設計における制御設計の考え方

—設備設計者としての設計判断—

福嶋 陽 氏(株式会社 Office May)

優秀賞を受賞した発表。CPC(Cell Processing Center:細胞培養加工施設)空調における制御設計の本質を論じた内容で、「CPC設計の本質は制御設計であり、図面に現れない設計判断が品質を決める」というテーゼを軸に展開されました。室圧計画・動線計画との整合をどう制御設計に落とし込むか、具体的な設計プロセスが紹介されるとともに、「高度な制御技術はメーカー・ベンダーの技術力によって支えられている。

一方で、それらをどのように整理し設計へ落とし込むかという制御思想については、設備設計者も積極的に関与すべき領域」という力強いメッセージが会場の共感を呼びました。設備を「制御系」として捉える視点の重要性を若手設計者に訴えた意欲的な発表です。



「東北地方の震災復興について」

山縣 卓哉 氏(株式会社 ピーエーシー)

代理発表 鈴木 亮 氏

東日本大震災の復興事業に設備設計者として携わった実体験が報告されました。岩手県釜石市の国土交通省発注施設の設計を通じ、天井まで津波が押

し寄せて天井材・LGSが崩れた建物、外構ポールが根元から折れた惨状を目の当たりにした経験が生々しく語られました。そうした被害を踏まえて設計した津波避難施設では、厳しい設計条件のもとで人命を守るための設備計画を立案。「この経験を経て」と題したまとめのスライドでは、被災地での実務経験が設計者としての使命感を深めたことが語られ、会場に深い印象を残しました。



「庁舎における改修設計(改修設計のポイント)」

和智 健壽 氏(日和エンジニアリング株式会社)

建物のライフサイクルを軸に、設備改修設計のポイントを事例とともに解説。特に執務並行工事(稼働中の庁舎内で空調設備を全面改修する工事)への対策が詳しく紹介されました。工期縮小要望のある2階を優先するため、仮設間仕切り壁を設置して作業スペースを確保しつつ工区を限定。3階床置FCUを床下配管が不要となる天吊FCUとすることで、工事・執務中の安全対策と事務室使用停止期間の短縮を両立させた工程計画が紹介されました。「改修工事では既存への配慮と施主の業務継続の両方を常に意識することが重要」という実務的なメッセージが印象的でした。



■賛助会員 展示ブース

若手技術者作品発表会と同じ東京国際フォーラム 5階B5ホールにて、賛助会員各社による展示ブースが11:00より開設されました。若手発表会とは別の独立したイベントとして運営され、一般来場者も入場無料で自由に見学いただけました。会員・来場者は28社の各ブースを回覧し、最新の設備機器・システムについて各社担当者と直接対話しながら情報収集できる貴重な機会となりました。普段の業務では得られない最新製品の詳細や実際の導入事例が共有され、実務に直結した意義ある交流の場となりました。

◇開催概要

日 時：2026年1月30日(金)

会 場：東京国際フォーラム 5階 B5ホール
(若手技術者作品発表会と同会場・同時開催)

入場料：無料(一般来場者も入場可)

出展社数：28社(五十音順)

◇出展社一覧(五十音順)

(株)アイシン SFA Japan(株) / (株)NYK システムズ / (株)荏原製作所 / (株)角藤
スパイラックス・サーコ(同) / (株)西部技研
/ 積水化学工業(株) / ダイキン工業(株)
タニコー(株) / TMES(株) / テラル(株)
/ 電光工業(株) / 東京ガス(株)
東光東芝メーターシステムズ(株) / TOTO
(株) / (株)日本イトミック / 日本スティー
ベル(株)
日立グローバルライフソリューションズ(株) /
(株)富士通四国インフォテック
ブリヂストン化工品ジャパン(株) / (株)ベン
/ ホーコス(株) / 前澤給装工業(株)
(株)モデュレックスエナジーイノベーションズ
/ 森松工業(株) / ユーキャン(株) / (株)ユ
ニパック



■設立 20 周年記念式典

◇開催概要

日 時：2026 年 1 月 30 日(金)16：00～18：00
 会 場：東京国際フォーラム 7 階 B7 ホール
 参加者：会員・来賓・賛助会員など 300 名超
 式次第：①会長挨拶 ②来賓祝辞 ③来賓紹介
 ④協会 20 周年の歩み ⑤功労者表彰
 ⑥受賞者代表挨拶 ⑦特別講演

◆開会挨拶 武井 一義 会長

式典は武井一義会長(株式会社ピーエーシー 代表取締役)による開会挨拶でスタートしました。2005 年の統合から 20 年という節目を迎えられたことへの感慨と、二つの協会を一つにした先人たちへの敬意が述べられました。



◆来賓祝辞

3 名のご来賓よりご祝辞をいただきました。
 国土交通省 官庁営繕部 設備・環境課長

伊藤 誠恭様

東京都建築士事務所協会 会長

千鳥 義典様

日本設備設計事務所協会連合会 会長

高木 俊幸様

◆来賓紹介

来賓祝辞に続き、ご来席いただいた来賓の方々のご紹介が行われました。行政・関連団体・学術機関など各方面からお集まりいただいた多くのご来賓が紹介され、協会が幅広い分野と深いつながりを持ちながら 20 年の歩みを積み重ねてきたことが改めて示されました。



◆協会20周年の歩み報告

理事 望月 温 氏・監事 田中 清久 氏
理事の望月温氏・監事の田中清久氏より、スクリーンに年表を投影しながら「協会20周年の歩み」が報告されました。統合発足(2005年)から一般社団法人化(2012年)、CPD制度・設計賠償保険の整備、BIM小委員会・AI活用研究特別委員会の発足まで、時代に応じた協会の進化の歩みが参加者の記憶と重ねて振り返られました。20年の歴史を振り返ることで、協会の理念がいかに関がれてきたかが改めて確認される場となりました。

◇功労者表彰

協会の設立・発展に長年にわたり尽力された方々への功労者表彰が執り行われました。功績賞4名、功労賞6名、特別賞2名の計12名が受賞し、武井会長より表彰状および記念品が贈呈されました。登壇される受賞者に対し、会場から盛大な拍手が送られました。武井会長は「現在の協会はここにいる先輩方の献身の上に成り立っている。その精神を次世代へ継いでいく責任がある」と述べました。





◇功績賞

森村 潔様 株式会社 森村設計
堀竹 英弘様 元 株式会社 総合設備コンサルタント
小林 貞夫様 株式会社 総合設備計画
市村 充様 株式会社 総合設備コンサルタント

◇功労賞

青木 健三様 株式会社 ピーエーシー
奥村 克夫様 芝浦工業大学
三舟 敏夫様 三建設備工業株式会社
中上 尚之様 斎久工業株式会社
山本 一吉様 元 ホーコス株式会社
辻 永様 株式会社 ショウエイ

◇特別賞

明野 徳夫様 株式会社 明野設備研究所
南雲 紀靖様 株式会社 ナグモ設備設計事務所



◆受賞者代表挨拶 市村 充 様 (株式会社 総合設備コンサルタント 相談役)

功労者表彰に続き、功績賞を受賞された株式会社 総合設備コンサルタント 相談役 市村充様より、受賞者を代表してご挨拶をいただきました。

◆特別講演 倉渕 隆 氏 (東京理科大学 副学長)

式典の締めくくりとして、東京理科大学 副学長 倉渕隆様による特別講演が行われました。



■設立20周年記念祝賀会

◇開催概要

日 時：2026年1月30日(金)18:30～20:30

会 場：東京国際フォーラム 7階 B7ホール
(式典と同会場)

参加者：会員・来賓・賛助会員 300名超

◆開会挨拶・賛助会挨拶・乾杯

記念式典に続き、祝賀会が催されました。武井一義会長より20周年への感謝の挨拶、理事・賛助会運営委員長 松江一騎様より賛助会を代表したご挨拶の後、副会長 南雲繁人氏の力強い発声により乾杯。会場に晴れやかな雰囲気が広がりました。



◆歓談

乾杯の後、会場では和やかな歓談が始まりました。協会の20年の軌跡を共に振り返りながら、旧知の仲間と語らい、新たな出会いも生まれた一夜となりました。歓談の最中には賛助会員によるVTRも上映され、各社の取り組みや最新製品・技術を映像でご紹介いただきました。



◆若手発表会報告・受賞者発表

副会長 柿沼 整三 氏

歓談の途中、副会長 柿沼整三氏の進行により「若手技術者作品発表会 (MET 賞)」の報告が行われました。まず審査を担当した5名の審査委員の紹介が行われ、続いて審査員長を務めた東京大学特任准教授 谷口景一郎様より審査員代表挨拶として全発表への総括的なご講評をいただきました。



そして待望の受賞者発表が行われました。会場の注目が集まる中、各賞の受賞者が読み上げられ、最優秀賞 (MET 賞) を受賞した有限会社 ZO 設計室 佐々木歩貴氏が壇上に招かれ、受賞のご挨拶をされました。佐々木氏は「下田市新庁舎というプロジェ

クトを通じて、エネルギーを循環させる設計の面白さを実感した。この受賞を励みにさらに精進していきたい」と喜びを語り、会場から温かい拍手が贈られました。なお、審査員特別賞の発表もこの場で行われ、会場全体が受賞者を称える雰囲気になりました。



◆中締め 副会長 柿沼 整三 氏

副会長 柿沼整三氏の中締めにより祝賀会はお開きとなりました。設立20周年記念行事の全プログラムが盛会のうちに幕を閉じました。

(藤井 裕太)

